

は し が き

ここに令和6年版鳥栖市統計書を刊行いたします。

この統計書は、鳥栖市の土地、人口、経済及び文化など各分野にわたる基本的な統計資料を総合的に収録して、市勢の現状並びにその推移発展を明らかにしたものです。

編集に当たりましては、できるだけ利用しやすいよう最新の資料を取り入れ、内容の充実に努め整理編成いたしました。

今後とも各方面のご指導、ご協力を得てよりよい統計書に改善・充実させていきたいと存じます。

おわりに、本書の編成に当たり、貴重な資料をご提供いただきました関係各位に心より厚くお礼申し上げます。

令和7年3月

鳥栖市長 向 門 慶 人

利 用 に あ た っ て

1. 本書の資料は、令和7年2月末現在で入手可能な限り最新のものを使用しました。
2. 資料の出所については、各統計書の右下に明記し、報告書などによった場合はその書名を掲げました。
3. 統計書中「年次」とあるのは年間（1月～12月の暦年）、「年度」とあるのは年度間（4月～翌年3月の会計年度）を示しています。
4. 統計書に用いた符号の用法は次のとおりです。
「0」 ……単位未満
「－」 ……皆無又は該当数字がないもの
「…」 ……調査を欠くもの又は数値不詳
「X」 ……数字が秘匿されているもの
「△」 ……マイナス
5. 数字の単位未満は、四捨五入することを原則としていますので、合計の数字と内訳の計とが一致しない場合もあります。
6. 本書利用に当たって疑義あるいは、更に詳細な資料が必要な場合は情報政策課へお問い合わせください。
7. 本書を鳥栖市公式ホームページで公開しています。以下のアドレスまたは二次元コードをご利用ください。

（ URL: <https://www.city.tosu.lg.jp/site/profile-tosu/2711.html> ）



鳥栖という地名

「肥前国風土記」によれば、応神天皇のころ、この地方に鳥屋があつていろいろな鳥を飼育して、天皇に献上したことから鳥櫟郷といい、後に「鳥栖^{とす}」というようになったと伝えられる。

[注]「肥前国風土記」は和銅6年（西暦713年）－古事記の出た翌年に当たる－に全国的な風土記として出されたものの一つ。

沿革

明治4年7月、廃藩置県と共に基肄^{きいぐん}郡に属す。

同5年5月「佐賀県」が置かれる。同年6月瓜生野村、鳥栖村を合併し、「鳥栖村」となった。

同22年、町村制実施により轟木村に役場が置かれた。

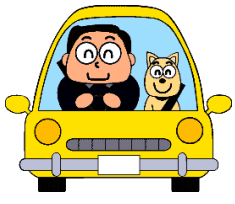
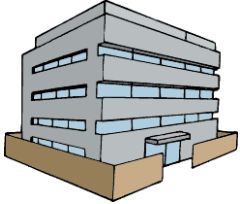
同29年、基肄、養父、三根郡を合わせて「三養基郡」と称し、郡役場が鳥栖に置かれた。

同40年、町村制施行により轟木町が「鳥栖町」となる。

昭和29年4月1日鳥栖市制施行によって、5町村（鳥栖町、田代町、基里村、麓村、旭村）が合併し、鳥栖市が生まれた。

・当時の人口は40,176人、世帯数7,304であった。

市民の暮らし

人口密度  鳥 栖 市 1km²に1,037.8人 (R6.10.1)	世帯人員  1世帯に2.2人 (R6.10.1)	出 生  1日に1.4人 (R6年中)	死 亡  1日に2.2人 (R6年中)
転 入  1日に10.9人 (R6年中)	転 出  1日に10.0人 (R6年中)	老年人口割合  市民4.1人に 1人は65歳以上 (R6.10.1)	交通事故  1日に0.7件 (R6年中)
救急出動  1日に10.1件 (R6年中)	火 災  15.2日に1件 (R6年中)	犯 罪  1日に1.0件 (R6年中)	自動車  1世帯に1.7台 (R5年度)
図書貸出数  百科事典 1人1年間に6.3冊 (R5年度)	水 道  1人1日に291.3ℓ (R5年度)	可燃ごみ排出量  1世帯(1日)1.8kg (R5年度)	し尿処理  1日に7.3kl (R5年度)
教員数  小学校 児童13.5人に1人 中学校 生徒13.0人に1人 (R6.5.1)	市民所得  市民1人当たり 3,685,253円 (R3年度市民所得推計)	市 税  1人当たり年間 186,758円 (R5年度)	市の予算 (人口1人当たりの歳出額)  R5年度市民1人当たり 459,034円

目 次

第1章 土地及び気象

1. 市役所の位置	1
2. 面積及び広ぼう	1
3. 主要山岳	1
4. 主要河川	1
5. 気象概況	2

第2章 人 口

1. 人口の推移	5
2. 人口動態	6
3. 年齢階層別人口構成	6
4. 5歳階級人口構成	7
5. 人口集中地区人口、面積	8
6. 常住人口と昼間人口	8
7. 15歳以上の就業者・通学者の流入・流出人口	9
8. 市町村別15歳以上の就業者・通学者の流入・流出人口	10
9. 公称住所別人口及び世帯数	13
10. 産業（大分類）別15歳以上就業人口の推移	14

第3章 事 業 所

1. 事業所数及び従業者数(民営)	17
2. 従業者規模別事業所数及び従業者数(民営)	18

第4章 農林水産業

1. 主要農作物の作付面積及び収穫量	19
2. 農業用機械種類別所有台数	19
3. 家畜・家きんの飼育状況	20
4. 農家人口及び就労人口	20
5. 農業就業人口及び基幹的農業従事者	20

6. 専兼別農家数	21
7. 主副業別農家数	22
8. 経営耕地面積規模別農家数	22
9. 経営耕地面積規模別経営体数	22
10. 耕地面積の推移	23

第5章 建設

1. 建築物の用途別、構造別棟数と面積	24
2. 住居の種類、住宅の所有の関係	26
3. 市道の概況	27
4. 市道1級、2級の舗装率	27

第6章 工業

1. 工業の推移	29
2. 規模別事業所数、従業者数、製造品出荷額等	30
3. 産業別事業所数、従業者数、製造品出荷額等及び(粗)付加価値額	32

第7章 商業

1. 商店数、従業者数、年間商品販売額、売場面積	35
2. 商店・従業者当たり販売額	37

第8章 運輸及び通信

1. 市内バス運行状況	39
2. 自動車保有台数の推移	39
3. 国道の交通量	40
4. 鳥栖インターチェンジ利用状況	41
5. 郵便ポストの設置数	41

第9章 電気・ガス・水道・下水道

1. 電力需要状況	42
2. ガス用途別需要状況	42
3. LPガス販売量	42
4. 上水道の口径別給水戸数及び給水量	43

5. 工業用水の配水状況	43
6. 下水道の普及状況	43

第10章 財 政

1. 一般会計決算額の推移(歳入)	45
2. 一般会計決算額の推移(歳出)	46
3. 国民健康保険特別会計決算額の推移	48
4. 後期高齢者医療特別会計決算額の推移	48
5. 農業集落排水特別会計決算額の推移	49
6. 産業団地造成特別会計決算額の推移	49
7. 水道事業会計決算額の推移	50
8. 下水道事業会計決算額の推移	50

第11章 市 民 所 得

1. 経済活動別市内総生産	51
2. 分配所得	52

第12章 社 会 保 障

1. 交通災害共済加入状況	53
2. 消費生活苦情相談	53
3. 敬老祝金支給状況	54
4. 国民健康保険加入状況	55
5. 国民年金加入状況	56
6. 国民年金給付状況	57
7. 老人クラブ数、会員数	58
8. 老人福祉センター利用状況	58
9. 保育事業所の概況	59
10. 生活保護状況	60

第13章 医 療 ・ 衛 生 ・ 環 境

1. 医療施設と医療関係者数	61
2. 県内医療施設数・率(人口10万対)	61

3. 県内医療従事者数・率(人口10万対)	62
4. 死因別死亡者数	62
5. 年齢別死亡者数	63
6. し尿等の収集及び処理状況	63
7. ごみ排出量	64
8. 公害苦情受理件数	64

第14章 教育及び文化

1. 幼稚園、小学校、中学校、高等学校の推移	65
2. 市立図書館蔵書数	66
3. 市立図書館の貸出状況	66
4. 主な体育施設利用者数	67
5. 市民文化会館の利用状況	68
6. まちづくり推進センターの使用状況及び講座・教室の開催状況	69

第15章 警察及び消防

1. 刑法犯認知及び検挙状況	70
2. 交通事故発生状況	71
3. 消防職員及び消防施設数	72
4. 火災の発生状況	72
5. 救急活動状況	73